

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 265 (通算 592 回)

2014 年 5 月 20 日 (火)

リスク分析と対応シナリオ ——

海外研修・留学時の危機管理の展開

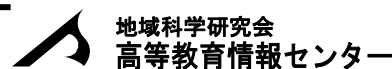
～増大するプログラム／事故・犯罪・災害・感染症対策の方策と実際～

- ※ 旅行者、NPO 法人の法的問題／トラブルの実態／重大事故支援システム (J-Basic、J-TAS、J-TOP)
- ※ [東工大] 国際戦略／海外渡航者情報の一元化／体制構築と費用／緊急時対応のマニュアル
- ※ [恵泉女学園大] 海外体験学習・語学研修・留学の取組み／危機管理体制／危機と対応の事例
- ※ [APU] 多様な海外プログラムと「危機」／参加学生へのサバイバル体験／「FIRST」事例

● 講師陣 ●

池野 健一 氏 / NPO 法人 海外留学生安全対策協議会 (JCSOS) 理事長
 花村 克悟 氏 / 東京工業大学大学院理工学研究科 教授 国際室アドバイザー
 堀 芳枝 氏 / 恵泉女学園大学 国際社会学科 准教授
 三好 真紀 氏 / 立命館アジア太平洋大学 アカデミック・オフィス課長

2014 年 5 月 20 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



日時：2014 年 5 月 20 日 (火) 10:00～16:50
 会場：剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
 麹町口より徒歩 10 分
 参加費：A. ご一名 (資料代込) 42,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
 43,000 円 (送料、消費税込)
 ※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方
 の参加形式です。
 ※開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、
 特別割引いたします。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が
 悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、
 FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 < (株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。
 申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ 第 2-106
 Tel : 03-3234-1231 Fax : 03-3234-4993 〒102-0082
 E-mail : kkj @ chiikikagaku-k.co.jp
 URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ 同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJ の URL にてご覧ください。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 265

2014 年 月 日

海外研修・留学時の危機管理の展開

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加

支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込
必要書類 □請求書 □見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00) 11:30	<p>□ いま大学の派遣留学で起きていること ～ 派遣留学の安全対策の課題 ～</p> <p style="text-align: right;">海外留学生安全対策協議会 (JCSOS) 池野 健一</p> <p>1. JCSOS の現況</p> <p>(1) 危機管理とは協定書のチェックから始まる (2) 旅行者、NPO 法人の法的問題</p> <p>(3) JCSOS のデータからみた派遣先国の変遷 (4) 留学生が持ち込むトラブルの実態</p> <p>2. JCSOS の重大事故支援システム</p> <p>(1) 大学の事故対応コンサルティング (J-Basic) (2) 海外にいる学生たちに対応する (J-TAS)</p> <p>(3) 保険でカバーできない領域も対応する (J-TOP)</p> <p>3. 今後の JCSOS</p> <p>(1) 激変する大学環境 (2) 大学独自の危機管理体制構築の留意点</p> <p>(3) 第三者機関のアドバイス機能 〈質疑応答〉</p>
11:40) 13:00	<p>□ [東京工業大] 海外研修・留学時の危機管理への取組み ～ マニュアル改訂/体制構築/対応訓練の実際 ～</p> <p style="text-align: right;">東京工業大学 花村 克悟</p> <p>1. 東京工業大学の国際戦略</p> <p>(1) 海外派遣プログラム</p> <p>2. 大学としての責務</p> <p>3. 大学としての課題と対応策</p> <p>(1) 緊急対策本部、マニュアル等の再検討 (2) 夜間、休暇中の緊急連絡体制の未整備</p> <p>(3) 大学が行う緊急時対応のノウハウ不足 (4) 想定すべき危機管理対応費用</p> <p>(5) 海外渡航者情報の一元化 〈質疑応答〉</p>
14:00) 15:20	<p>□ [恵泉女学園大学] 海外での「体験学習」における危機と管理について ～ タイ長期フィールド・スタディを中心に ～</p> <p style="text-align: right;">恵泉女学園大学 堀 芳枝</p> <p>1. 恵泉での海外プログラムの取組み</p> <p>(1) フィールド・スタディ (体験学習) とは</p> <p>(2) その他の海外プログラム (語学研修・留学など)</p> <p>2. 危機管理についての取組み</p> <p>(1) 参加学生への意識づけ (2) 大学の危機管理の体制について (3) 他の大学との情報交換</p> <p>3. タイ長期フィールド・スタディの危機と対応の事例研究</p> <p>(1) プログラム概要 (2) これまでの「危機」の事例紹介 〈質疑応答〉</p>
15:30) 16:50	<p>□ [APU] 留学・海外学習における危機管理の取組み ～ 1 回生向け海外学習プログラムを事例として ～</p> <p style="text-align: right;">立命館アジア太平洋大学 三好 真紀</p> <p>1. 多様な海外学習プログラムと「危機」</p> <p>(1) 立命館アジア太平洋大学 (APU) の多文化環境</p> <p>(2) 多様な海外学習プログラムと想定される「危機」</p> <p>2. 危機管理の取組み—危機回避の観点から</p> <p>(1) 情報収集 (2) 参加学生への意識づけ・事前学習 (3) 危機管理の体制と対応</p> <p>3. 1 回生向け海外学習プログラム「FIRST」の事例</p> <p>(1) プログラム概要—1 回生向け海外サバイバル体験 (2) 「FIRST」にみる危機管理 〈質疑応答〉</p>